

須坂黒壁PROJECT

須坂景観づくりの会第一事業 黒壁プロジェクト

右の地図上、須坂の町には文化財が点在しています。中でも須坂市の指定を受けるなどしている文化財「須坂クラシック美術館」「ふれあいの館しらふじ」「山丸一番館」があります。それら各施設を結ぶルートの中で、大手通り、大門通りとよばれる「須坂クラシック美術館とふれあいの館しらふじ」を結ぶ通りについては、町並みの整備が進んでいないために人の通りが少なくなっています。須坂景観づくりの会では、この通りの景観をよくすることで住民も観光客も楽しんで歩ける須坂の見所の周遊コースができるのです。

「須坂市有形文化財●クラシック美術館」と「国の登録有形文化財●ふれあいの館しらふじ」を結ぶ小路の魅力

- 1 今でも残る蔵作りの長屋の景観
- 2 葵の紋を掲げる勝善寺を中心とする寺町
- 3 松井須磨子や美空ひばりが講演したとして知られる須坂劇場があった商店街(劇場通り)
- 4 須坂藩邸に続く大門があった「大門通り」

「黒板壁」「黒格子戸」によって 趣きと統一感のある町並みに

この通りの景観整備は、主に「黒板壁」「黒格子戸」によって趣きと統一感のある町並みにします。

例) 新潟県むらかみ町 黒塀プロジェクト

城下町の風情ある小路のブロック塀を昔ながらの黒塀に変えるプロジェクト

村上旧町人町にある安善小路とその周辺には、城下町の歴史的建造物が多く集まり、この小路を市民の手で城下町らしい昔ながらの黒板塀の景観に戻そうという思いから、市民自ら平成14年早春「黒塀プロジェクト」を開始されました。既存ブロック塀を壊さず、その上に木の板を打ちつけ黒く塗ることで、表向き黒塀に変えるもので「黒塀一枚1000円運動」と銘打って展開し、市民の手作りで黒塀作りを始めました。簡易工法ではありますが、ブロック塀を黒塀に変えるだけで町の景観を変えることができます。平成17年には約160mの黒塀が作られ、現在も延長中です。また「安善小路と周辺地区の景観に関する住民協定」が締結され、電線の地中化や道路の石畳化を目指して活動が行なわれています。



今でも残る蔵作りの長屋の景観

駅をおりれば蛹の匂い、3区に上がってくれば白粉の匂いと詩われた通り



実施前

実施後のイメージ

葵の紋を掲げる勝善寺を中心とする寺町

須坂藩邸に続く大門があった「大門通り」



実施前

実施後のイメージ

松井須磨子や美空ひばりが講演したとして知られる須坂劇場があった商店街

みんなの手で創ろうプロジェクト

須坂市の歴史的建物を結ぶ小路の景観を皆で作いませんか。市民自らの手で街の景観を考え創ることで郷土須坂に対する愛情が生まれます。須坂を訪れる観光客が小路を歩き、町が活性化します。

地元大工職人の指導の下、地元小学生と地元住民によって景観づくりを行います。通り沿いの住民の方々への説明会の実施、綿密な打ち合わせを行い、生活に支障のないようにしていきます。

